

## 2012年3月期第2四半期業績に関する主なQ&A

2011.11.2.

Q. 新興国の市場状況について

A. 中国は市場がオーバーキャパシティのため、周辺国含めて市況は悪くなっています。但し、それは汎用品のマーケットのことであり、当社は引き続き中国等においても高付加価値品を拡大していきます。南米については、引き続き需要は堅調であり、今後とも期待できます。

Q. 為替換算調整と年金の数理差異計上により純資産の減少が大きいですが、今後財務的に課題となりますか？

A. 借換えも含めて財務的な問題はありません。SMP(戦略的経営計画)にも影響を与えることはありません。

Q. 償却前営業利益 30 億円下方修正の内容について

A. 10 億円が円高の影響、残り 20 億円は現時点で今後のビジネス状況をレビューした結果となります。事業別には、BP は、中国・東南アジアの市況悪化等を織り込んで、下期は上期より悪くなるとみています。ソーラーの伸び率は、当初予想より減速する見込みです。Auto は、震災の影響がなくなるのと、コストも改善できるため、下期は上期よりも良くなるとみています。SG は、上期並みに下期も堅調とみています。

Q. 営業外の状況について

A. 金融収支は、140-150 億円を通期で想定しています。

Q. 増設した設備の状況について

A. ブラジルの Auto 設備は、今年末にはフル稼働になる見込みです。

ポーランドの Auto 新工場は、2012 年半ばに立ち上がります。

メキシコの Auto 新工場も、来年 (2012 年) 立ち上げになります。

英国のソーラー用設備は、顧客の品質認証がほぼ終了し、下期から貢献してきます。

ベトナムのソーラー用設備は、現在顧客の品質認証中で、今期の第 4 四半期から貢献する予定です。

アルゼンチンの建築用フロート設備は、2014 年に稼働予定です。

Q. タイの水害による影響について

A. SG について少し影響ありそうですが、大きなものとはならないとみています。

## 2012年3月期第2四半期業績に関する主なQ&A

Q ブラジル通貨、レアルの想定について

A 上期実績は、49円/レアルでした。通期の前提は、44円/レアルです。

以 上